成田山表参道屋外型公衆無線LAN整備業務委託 に係る公募型プロポーザル実施要領

(目的)

第1条 この要領は、成田山表参道屋外型公衆無線LAN整備業務委託を公募型プロポーザル方式（以下「プロポーザル」という。）により、優先交渉権者を選定する場合の手続きについて必要な事項を定める。

(選定審査委員会)

第2条 プロポーザルによる優先交渉権者の選定を厳正かつ公平に行うため、選定審査委員会（以下「委員会」という。）を置き、次の各号に掲げる事項を行うものとする。

- (1) 優先交渉権者を選定するための方針の決定
- (2) 企画提案内容等の評価・審査及び優先交渉権者の選定
- (3) その他必要な事項

2 委員会は、シティプロモーション部長、観光プロモーション課長、観光プロモーション課課長補佐、商工振興企業立地課長、成田市観光協会から推薦された者の合計5名をもって構成する。

3 委員会に委員長、副委員長を置き、委員長はシティプロモーション部長、副委員長は観光プロモーション課長をもってこれに充てる。

4 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

5 委員長に事故あるときは、副委員長がその職務を代理する。

6 委員会は、必要に応じ委員長が招集し、その議長となる。

7 委員会の会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

8 会議の議事は、出席した委員の過半数で決する。

9 その他委員会の運営に関して必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

(企画提案書提出者の参加資格等)

第3条 企画提案書提出者（以下「提出者」という。）は、「成田山表参道屋外型公衆無線LAN整備業務委託に係る公募型プロポーザル募集要項」（以下「募集要項」という。）に記載する要件を満たす者とし、募集要項に基づく参加申請書類を提出することで参加表明手続きを行わなければならない。

(評価)

第4条 委員会が、優先交渉権者を選定するための審査方法及び評価基準は、第2条第1項第1号で決定した選定方針によるものとする。

2 委員会は、参加申請書が提出されたときは、参加資格を審査し、第一次審査及び第二次審査を行う。

- (1) 第一次審査は書類審査とし、提出された書類を評価基準に基づき審査する。提出者が4者以上のときは、評価得点の高い者から順に第二次審査に進出する者を3者以下に選定する。ただし、提出者が3者以下のときは、全提出者を第二次審査に進出させることとする。

- (2) 第二次審査は、企画提案書を基にプレゼンテーションによる審査を行う。委員会は、企画提案内容等について、評価基準に基づき評価する。

(優先交渉権者の選定)

第5条 委員会は、第一次審査と第二次審査の評価得点を合計して評価順位を決定する。評価順位が第一位の者を優先交渉権者として選定し、次順位の者を次点交渉権者とする。

2 審査の結果において評価得点が総評価点の6割に満たない場合は、優先交渉権者として選定しない。また、最高点の者が複数いる場合は、原則として提案金額の安価な提案者を優先交渉権者とする。

(失格条項等)

第6条 提出者が次の各号の一に該当する場合、その企画提案書は無効とする。

- (1) 企画提案書の提出方法、提出先、提出期限に適合しないもの。
- (2) 参加資格を満たさない者から提出されたもの。
- (3) 記載すべき事項の全部又は一部が記載されていないもの。
- (4) 許容された表現方法以外の表現方法が用いられているもの。
- (5) 虚偽の内容が記載されているもの。
- (6) この要領及び募集要項に定められた以外の手法により、選定審査委員又は関係者にプロポーザルに対する援助を直接的、間接的に求めたとき。
- (7) その他、行為が法令違反であり、かつ、審査結果に影響を与える恐れのあるとき。

(優先交渉権者の決定及び選定結果の通知)

第7条 委員会は、第5条の規定により選定した優先交渉権者を市長に報告しなければならない。

2 市長は受注予定者を決定し、各提出者の結果のみを文書により当該提出者に通知する。

(企画提案書の取り扱い)

第8条 提出された企画提案書の取り扱いは、募集要項の留意事項に記載するとおりとする。

(事務局等)

第9条 プロポーザルに関する事務局及び委員会の庶務は、シティプロモーション部観光プロモーション課において担当する。

(委任)

第10条 この要領に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要領は、令和7年4月1日から施行し、契約の完了日をもってその効力を失う。